

経営比較分析表（令和6年度決算）

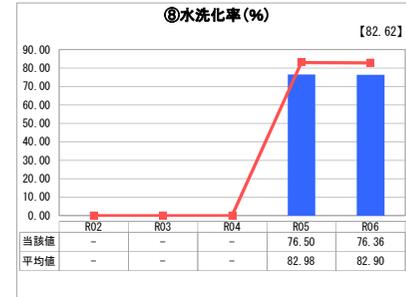
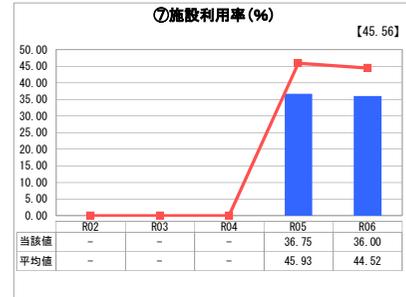
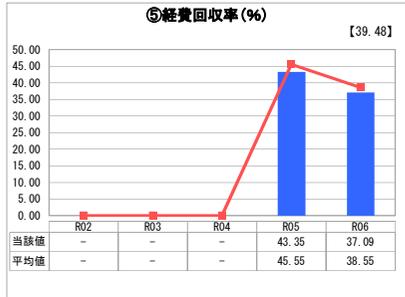
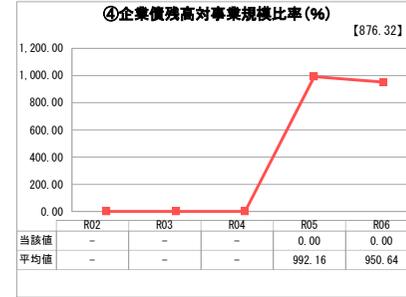
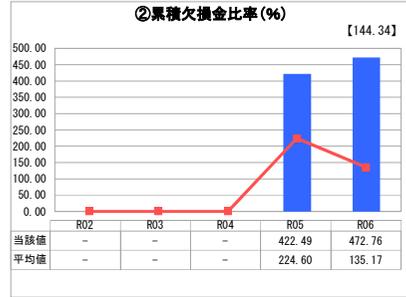
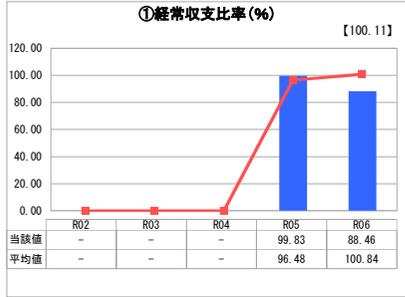
岐阜県 七宗町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	個別排水処理	L2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	38.58	21.83	100.00	3,467

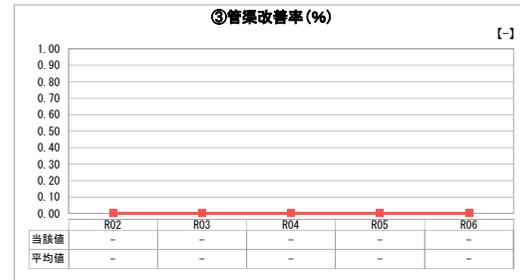
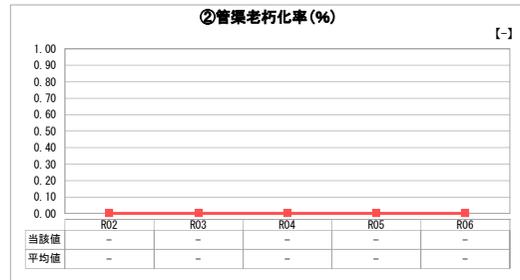
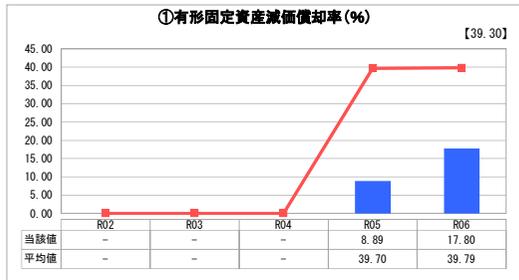
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
3,186	90.47	35.22
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
681	0.03	22,700.00

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本町は、農業集落排水事業・小規模集合排水処理事業・個別排水処理事業を一つの下水道事業として、令和5年度から地方公営企業法の一部を適用し経営している。

個別排水事業については、中山間地域では1軒当たりの床面積が比較的大きく、浄化槽は家屋床面積により人槽算定がされるため、その床面積に比例し、比較的大きな人槽の施設が設置されています。減少していく人口に対して、個々の浄化槽毎に見ると過大な設備となりつつあります。

今後も人口の減少が想定されるため、経費の回収率が低くなると考えられますが、一部で若年層の定住や新規の戸建建築もあるため、新規設置や接続率の向上も見込まれます。①経常収支比率は、100%を切っており、②累積欠損金比率も高いため、引き続き改善の取り組みを継続していく。⑥汚水処理原価を抑えつつ、⑤経費回収率を上げられるよう効率性を高めていく。

*表中④企業債残高対事業規模比率のR02当該値～R06当該値は、一般会計で負担するため「0.00」である。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率が上昇してきており、委託業者である維持管理会社と連携を密に図り、合併処理浄化槽本体はもとより、Pの装置などの付帯設備を含めて既存施設及び機器の安定的な稼働と長寿命化に努めています。

全体総括

管路を設置して集合処理を行う下水道等の整備が効率的ではない地域での事業であり、物価、人件費等の高騰により、今後の保守委託費、修繕費などの維持管理費増大が見込まれるため、一般会計からの繰入に頼らざるを得ない状況であり、事業の健全化が困難ではある。

しかし、事業の健全運営のため、今年度改定している七宗町下水道事業経営戦略を基に運営をします。また、今後も水洗化をすすめ、接続促進に努め健全経営を目指します。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。